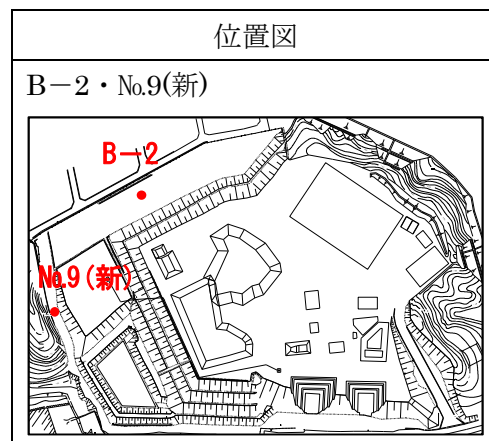


井戸閉塞工法について

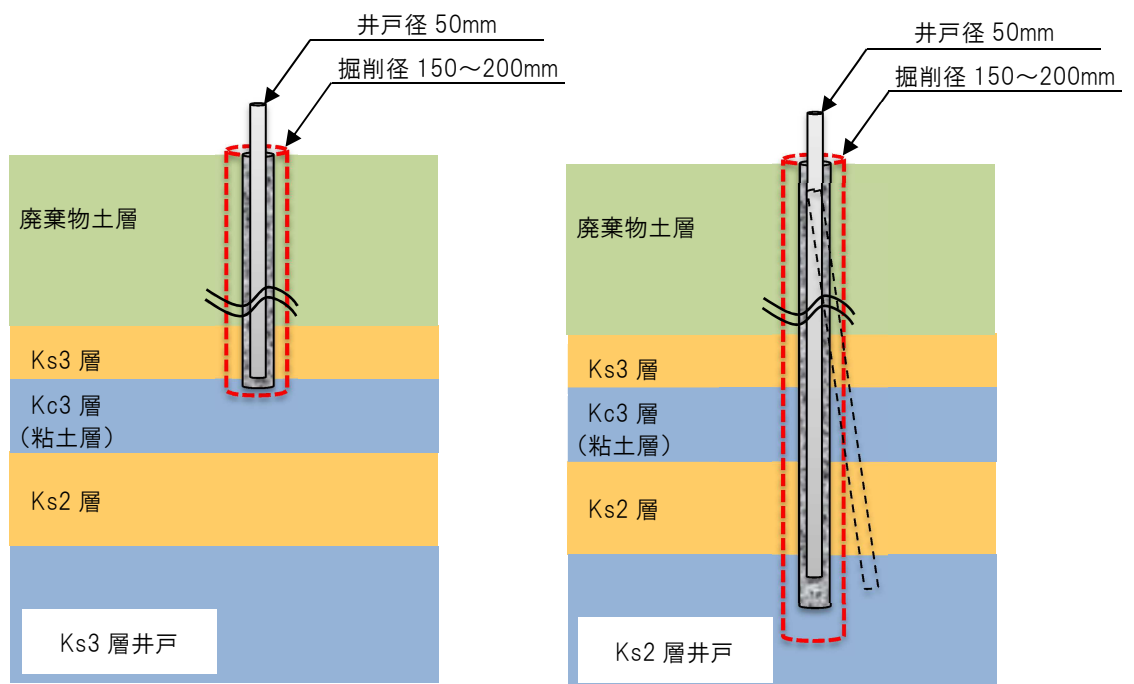
当初は、観測井戸閉塞工について Ks2 層、Ks3 層とも井戸を囲うようにボーリング掘削を行い、塩ビ管および豆砂利やベントナイト等の充填材を撤去したのち、無収縮モルタル等で充填する計画としていました。【図—1】

Ks3 層を対象とした浅い井戸はこの方法で撤去できましたが、Ks2 層を対象とした深い井戸（B-2）や塩ビ管が曲がっている井戸No.9(新)ではこの方法では困難であることがわかりました。

そこで B-2 および No.9 (新)の井戸については図—2 の方法で閉塞することとします。



図—1 当初案



図一2 全旋回掘削工法

掘削口径が大きい「全旋回掘削工法」により井戸管を撤去・閉塞する。

